

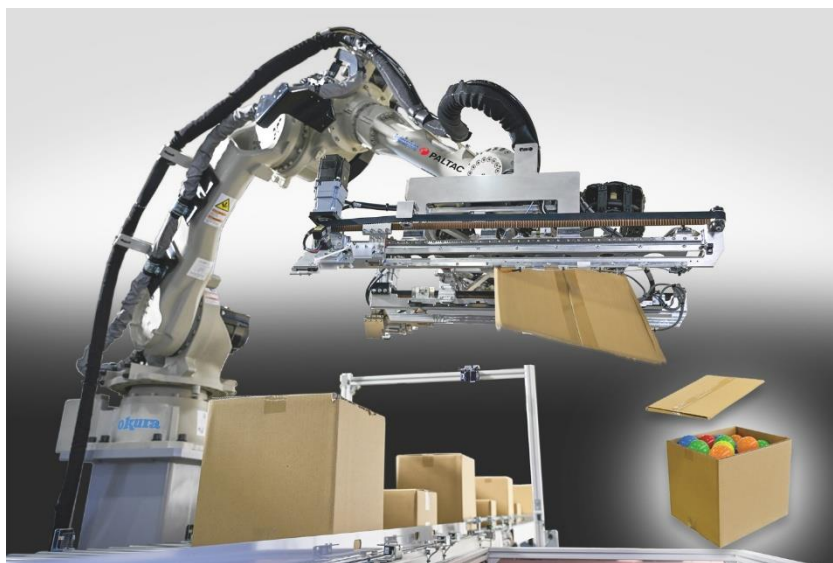
2026 年9月 24 日
株式会社PALTAC
オークラ輸送機株式会社



PALTACとオークラ輸送機の共同開発した段ボールケース開梱装置 「REO」が第 30 回日本MH大賞・優秀賞を受賞

株式会社メディopalホールディングス(本社:東京都中央区、代表取締役社長 渡辺 秀一)の連結子会社であり、化粧品・日用品、一般用医薬品の最大手卸である株式会社PALTAC(以下PALTAC)とマテハンシステムメーカーのオークラ輸送機株式会社(以下オークラ輸送機)は、両社が技術提携により開発した段ボールケース開梱装置「REO(Random Easy Opener)」が「第 30 回日本マテリアル・ハンドリング(MH)大賞」において優秀賞を受賞したことをお知らせいたします。

日本MH大賞は、日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会が主催するマテハン分野における優れた技術やシステム、先進的な取り組みを表彰する制度です。今回の受賞では、物流センターにおける人手不足への対応、安全性向上、作業負荷軽減に対する実用性と独創性が高く評価されました。



第 30 回日本MH大賞・優秀賞を受賞した REO

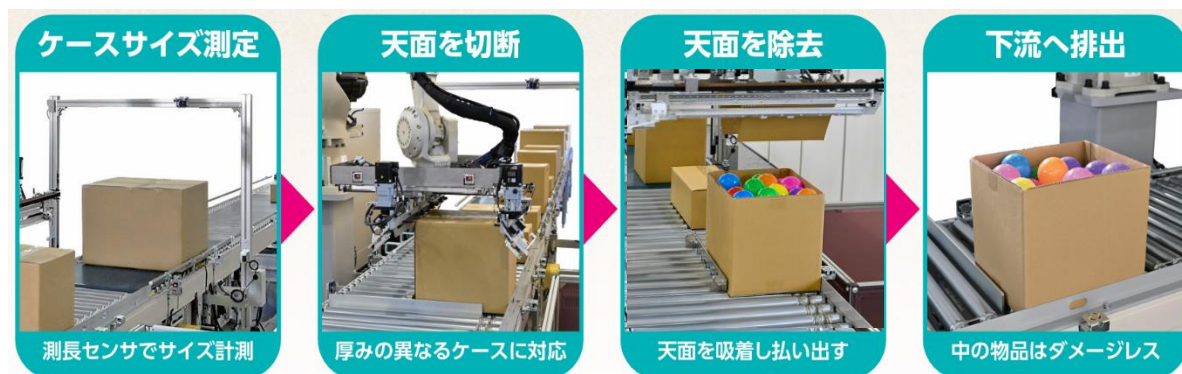
■受賞製品「REO」について

REO は、物流センターや流通現場で日常的に行われている人手による段ボールケースの開梱作業を自動化するロボットシステムです。ケース天面を切り落とせるカッター刃をロボットハンドに装着し、アームが人に代わって切断していくものです。ケース内の物品を傷付けず、高速で多種多様なサイズのケース天面を切断できることが大きな特長です。

カッター刃付きハンド、アーム、供給コンベヤなどでシステム構成され、切断した天面の自動除去

機構や替え刃のオートチェンジ機構を備え、毎時最大 500 ケースの高速切断・開梱を実現しています。

REO の動作フロー



REO の実際の動作動画 (<https://youtu.be/9V-GkBG-VVw>)

■技術提携から今回の受賞までの経緯

PALTACは、物流センターにおける段ボールケースの開梱作業を自動化するため、長年にわたり独自の研究開発を進め、自社物流センターで実用化してきました。一方、オークラ輸送機は、多様な物流現場の自動化を支援する中で、自動開梱ニーズに応えるPALTACの技術に注目していました。

2024 年3月には、この技術を製造・物流現場へ広く提供することを目的として、両社は技術提携し、汎用モデルの製品化と販売に向けた取り組みを開始しました。今回の受賞は、両社がそれぞれの強みを持ち寄り、物流現場の課題解決に取り組んできた成果の一つと捉えています。

【ご参考】2024 年3月 25 日発表：段ボール自動開梱装置の製品化・販売のお知らせ

(<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8283/tdnet/2412983/00.pdf>)

■今後の展開

手作業主体で行う段ボールケース開梱作業の自動化を実現する自動開梱装置は新たなソリューションとしての需要が見込めるとともに、人手不足対策、従業員の危険作業からの回避、物流効率化推進など、社会的な課題解決のお役に立てると考えています。

両社は今後も、物流センターの省人化・自動化ニーズに対応するソリューション開発を進め、持続可能な物流インフラの実現に貢献してまいります。

<株式会社PALTAC>

本社：大阪府中央区本町橋2-46

代表取締役社長：吉田 拓也

特色：化粧品・日用品、一般用医薬品の業界最大手卸

<オークラ輸送機株式会社>

本社：兵庫県加古川市野口町古大内 900

代表取締役社長：大庫 良一

特色：創業 100 年の歴史をもつマテハンシステムの総合メーカー

本件に関するお問合せは下記までお願いいたします。

《株式会社PALTAC》

経営企画本部 嶋 田 (TEL 06-4793-1090)

研究開発本部 三木田 (TEL 06-7167-4401)

《オークラ輸送機株式会社》

広報担当 宮 崎 (TEL 06-4867-7000)